

Haむら 得するマガジン



無料
Vol.39

特集

コロナに負けない! 羽村の絶品テイクアウト

商工会員頑張ってます

明日の羽村を支える 次世代パワー

●PC・スマホでカンタン!

羽村市内の飲食店お取り寄せサービス「はむ宅」

- 商工会員募集 一事業を営む方ならどなたでも入会できます
- 新規会員紹介
- 住まいに関する相談会を開催します。

商工会ホームページでもご覧いただけます。
インタビュー動画公開中!

羽村市商工会 検索 <http://www.hamura-sci.jp>

次世代パワー

1 ヤマシタ電気／山下将大さん

獲得した信頼・期待に全力で応えていきたい

電気工事会社に7年近く勤務した後、2011年に独立した理由は、「やるなら今しかないと」と思ったからです。年齢を重ねればハードルは高くなる。挑戦するなら若いうちだと。ところが、独立直後に得意先の会社が事業撤退を決め、受注が大幅に減少。山下さんは、できるだけ人に会い、自分の人間性を多くの人に知つてもらおうと不安を抱えながらも懸命に営業を重ねた。「電気工事はやる内容が決まっているので、仕事を確実にこなすことは大前提。『山下に任せれば大丈夫だ』と信頼されるかが、今後につながります」

大規模店舗から一般家庭まで工事のフィールドは幅広く、仕事先も関東全域に及ぶ。振り返れば2021年の5月以降の半年で、休日は3日しかなかった。信頼が生んでくれた期待に応えたい、の一心だった。

「仕事をしながら地域貢献も続けたいです。コロナ禍でイベントはありませんでしたが、周りに支えられて今日まで働いてこれました。状況が許す限り活動に参加していきたいと思っています」

2 有限会社小作物産／小作洋介さん

明日の羽村を支える 次世代パワー

目標は安心して楽しく働ける職場づくり

家業であるごみの収集業をいざれは継ぐであろうと考えていた洋介さん。学校卒業後に就職したのは大手量販店。仕入れやマネジメントを学ぶためだった。

「全国に転勤して、新潟にいたときには中越大地震を経験しました。それぞれの土地に独自の文化があって、人間性も異なる。たくさんの人と出会えたことは私にとって大きな財産です」

家業に入ったのは2016年。高校時代に収集業務を手伝っていたため、仕事の内容は把握していたが、意外だったのは人と交流する機会が想像以上にあったことだ。

「収集中に声をかけてくださったり、中には感謝の手紙をいただく機会もありました。思いがけず受けたありがとうの言葉に、身が引き締まる思いでした」

2019年の秋から取締役となつたが、午前中は収集業務に参加する。目下の目標は安心して楽しく働ける職場づくりだ。

「現場を支える人がいるから会社はやっていく。良い仕事場だと思われる会社を続けていきたいです」

〒205-0016 羽加美3-5-25
事業所Webサイトは[こちら](#)
所在地は[こちら](#)

〒205-0021 川崎1-10-41
所在地は[こちら](#)

QRコード

羽村市の未来を支える青年部員を募集中です!
詳しくは羽村市商工会(電話 042-555-6211)までご連絡ください。

アンケートにご協力をお願いします

商品券2,000円分を5名様にプレゼント

アンケートにこたえる プレゼントゲット!

- ①面白かったもの
- ②取り上げてほしいテーマ
- ③本紙を見て実際に行ったお店・事業所の感想

住所・氏名・年齢・電話番号を添えてお送りください。
●ファックス: 042-555-6210
●官製はがき(3月31日消印有効): 下記宛先まで
〒205-0002 東京都羽村市栄町2-28-7
あて先 羽村市商工会「得するマガジンHaむら」アンケート係

【締め切り】
3月31日(木)

